

# 経営比較分析表（令和2年度決算）

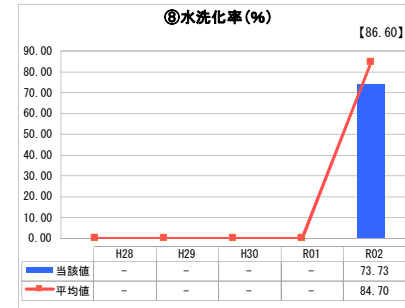
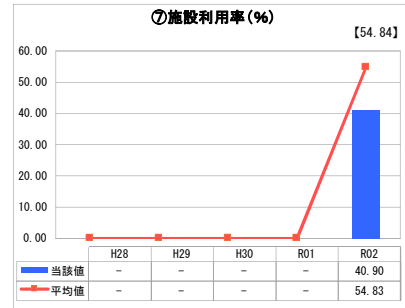
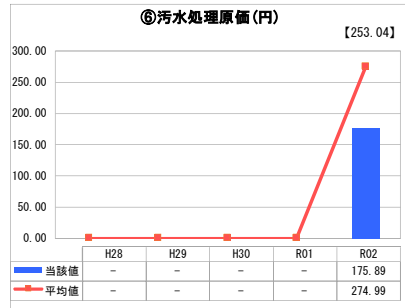
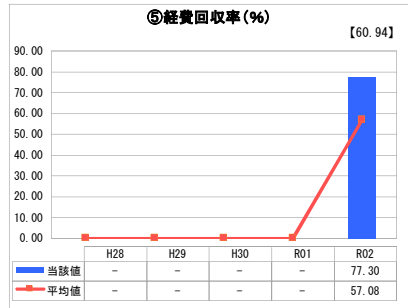
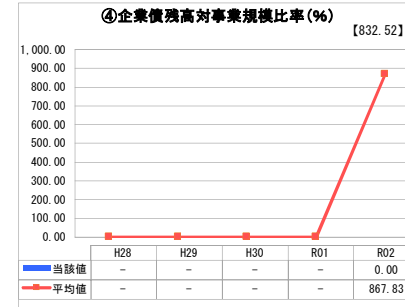
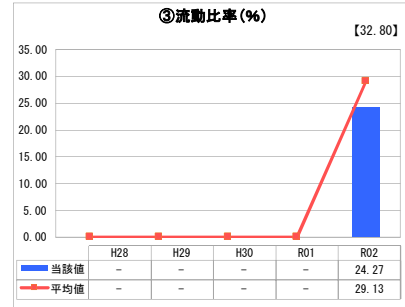
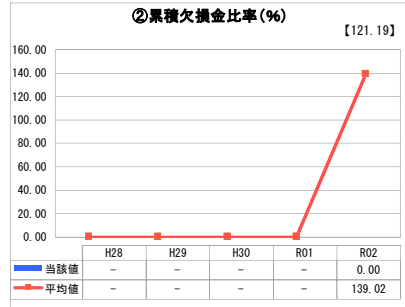
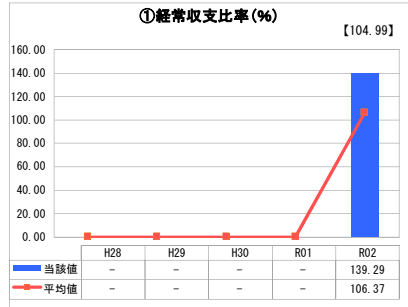
福島県 西郷村

業務名	業種名	事業名	類似団区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	69.26	10.23	99.12	2,750

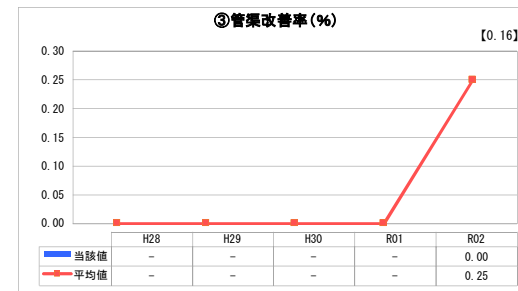
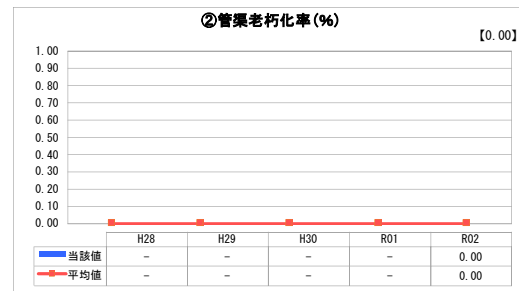
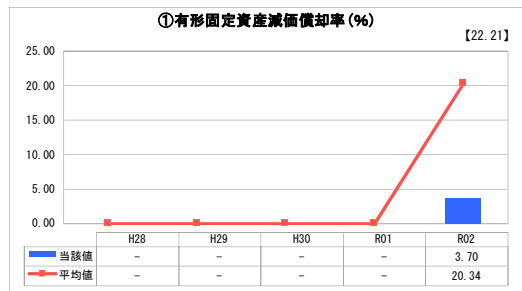
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
20,254	192.06	105.46
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
2,059	3.87	532.04

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和2年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

当村は、令和2年度から地方公営企業法の全部を適用したため、経営比較分析上では令和元年度以前の比較は表示されていない。

- ①経常収支比率：100%以上であり、単年度収支は黒字を確保しているが、長期前受金戻入額や一般会計からの繰入の影響が大きい。（⑤経費回収率が100%を切っている要因の一つでもある。）
- ③流動比率：100%を大きく下回り、類似団体及び全国の平均と比較しても低水準だが、企業債償還をその年度毎に他会計からの繰入で賄う割合が多いことが主な要因である。
- ⑤経費回収率：類似団体及び全国の平均を上回っているが、1/4を他会計からの繰入等で賄っていることにより、適正な使用料収入の確保が必要である。
- ⑥汚水処理原価：類似団体と比較すると低い水準ではあるが、⑧水洗化率の低さや、それに伴う⑦施設利用率の低さも影響している。今後の人口減少等により原価の上昇も見込まれるため、対策が必要である。
- ⑦施設利用率：50%を切っており、⑧水洗化率が低いことも影響している。
- ⑧水洗化率：全国・類似団体どちらと比較しても低水準であり、水洗化率向上以外にも、農業集落排水地区の人口減少や後期高齢化等を加味した上で、長期的な経営を見据えた対応策を考える必要が出てきている。

### 2. 老朽化の状況について

当村の農業集落排水事業は供用開始から約22年経過しており、管渠等については半数以上耐用年数が残っている。今後において、計画的に対応していく予定である。

## 全体総括

現状として一般会計からの繰入の依存度が高く、また、農業集落排水地区全体として、将来的な普及と人口の増加は期待できないと考えられる。公共下水道と比べても経営状況はより厳しくなると予想され、持続可能な経営を行うべく、適正な使用料単価の改定等を含めた経営改善を図っていく必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。